

## 立川市第4次文化振興計画に向けて 現状と課題

## ◎取り巻く環境の変化

- ・第4次長期総合計画・後期基本計画策定（R2（2020）年度～R6（2024）年度）
- ・文化芸術振興基本法から「文化芸術基本法」への改正（H29.6.23）
- ・「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」の公布・施行（H30.6.13）
- ・GREENSPRINGS、たましん美術館の開業（R2.春）
- ・まんが、アニメ等サブカルチャーが盛ん。
- ・東地下道のリニューアルによるアート化の検討。
- ・働き方改革法案。

## ◎ふれる、たのしむ

- ・生活様式や価値観の変化、文化芸術に対するニーズも多様化する中、誰もが良質で多様な文化芸術に触れる場や機会の充実。
- ・ファーレ立川アートや市所有の美術品の維持・保全。
- ・文化芸術作品、施設等に対する意識づけ。自分たちのものであるといえる環境づくり。
- ・子ども未来センター、市民会館の活用。まちの活性化にどう結び付けるか。
- ・商店街との連携、空き店舗の活用。
- ・働き方方法案による余暇文化活動への提案。

## ◎はぐくむ、ささえる

- ・子どもが文化芸術に触れる機会や場の充実。
- ・若い世代のアーティスト等の育成、活動支援。
- ・継続的な文化芸術活動につながる支援。
- ・アール・ブリュット支援。

## ◎つたえる、つなげる

- ・文化芸術を生かしたシティプロモーション。
- ・ファーレ立川アート等、立川ならではの文化芸術の魅力の発信について。
- ・文化財の継続的な維持管理や経年劣化に対応した保存事業の継続、所有者の相続等に伴う維持保全のほか、伝統芸能の担い手不足等。
- ・立川市史編さんに伴い収集した資料等の整理や活用方法の検討。
- ・文化活動主体のつながり。すでにあるものをどう結びつけていくか。
- ・GREENSPRINGS、たましん美術館等、民間施設との連携・活用。
- ・文化活動主体の高齢化と担い手不足。